

動物種	試験	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 ²
	1年間 慢性毒性 試験	雄：4.0 雌：4.5	雄：8.7 雌：10.1	雌雄：体重増加抑制等
ウサギ	28日間 亜急性 経皮 毒性試験	雌雄：100	雌雄：400	雌雄：T.Chol 増加等
	発生毒性 試験	母動物：5 胎児：30	母動物：15 胎児：-	母動物：体重増加抑制等 (催奇形性は認められない)

食品安全委員会は、各試験の無毒性量の最小値がラットを用いた 1 年間慢性神経毒性試験の 2.6 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.026 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量(ADI)と設定した。

ADI	0.026 mg/kg 体重/日
(ADI 設定根拠資料)	慢性神経毒性試験
(動物種)	ラット
(期間)	1 年間
(投与方法)	混餌投与
(無毒性量)	2.6 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100

<別紙 1 : 代謝物/分解物等略称>

略称	化学名
B	[4-ブromo-2-(4-クロロフェニル)-3-シアノ-5-(トリフルオロメチル)ピロール-1-イル]メトキシ酢酸
C	4-ブromo-2-(4-クロロフェニル)-1-(エトキシメチル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボキサミド
D	2-(4-クロロフェニル)-1-(エトキシメチル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル
E	2-(4-クロロフェニル)-1-(エトキシメチル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボキサミド
F	4-ブromo-2-(4-クロロフェニル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル
G	4-ブromo-2-(4-クロロフェニル)-3-シアノピロール-5-カルボン酸
H	2-(4-クロロフェニル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル
I	2-(4-クロロフェニル)-4-ヒドロキシ-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル
J	2-(4-クロロフェニル)-4-オキソ-5-(トリフルオロメチル)-2-ピロリジン-3-カルボニトリル
K	2-(4-クロロフェニル)-5-ヒドロキシ-4-オキソ-5-(トリフルオロメチル)-2-ピロリジン-3-カルボニトリル
L	2-(4-クロロフェニル)-4-オキソ-3-シアノ-2-ピロリジン-5-カルボン酸
O	2-ブromo-4-(4-クロロフェニル)-1-(エトキシメチル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル

<別紙2：検査値等略称>

略称	名称
A/G 比	アルブミン/グロブリン比
Ai	有効成分量
Alb	アルブミン
ALP	アルカリホスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスアミナーゼ (=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ(GPT))
AUC	血中薬物濃度曲線下面積
BUN	尿素窒素
C _{max}	最高濃度
CMC	カルボキシメチルセルロース
Cre	クレアチニン
GGT	γ-グルタミルトランスフェラーゼ (=γ-グルタミルトランスぺプチダーゼ(γ-GTP))
Glob	グロブリン
Hb	ヘモグロビン濃度(血色素量)
Ht	ヘマトクリット値
Lym	リンパ球数
Neu	好中球数
PHI	最終使用から収穫までの日数
PLT	血小板数
RBC	赤血球数
Retic	網状赤血球数
T _{1/2}	消失半減期
TAR	総投与(処理)放射能
T.Bil	総ビリルビン
T.Chol	総コレステロール
T _{max}	最高血中薬物濃度到達時間
TP	総蛋白質
TRR	総残留放射能
WBC	白血球数

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
あずき (露地) 乾燥子実 1998年	2	100	2	3 7 14	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01		
さといも (露地) 塊茎 1998~1999年	1 2 2 1	100	2	3 7 14 21	<0.01 <0.01 0.006 <0.005	<0.0075 <0.0075 0.0075* <0.005		
さといも (施設) 葉柄 2003年	2	100	2	3 7 14	0.53 0.21 0.29	0.29 0.13 0.17		
かんしょ (露地) 塊根 2003年	2	100	2	1 3 7	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01		
やまのいも (露地) 塊茎 2003年	2	150~250	2	1 3 7	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01		
やまのいも (露地) むかご 2004年	2	250	2	3 7 14	0.71 0.60 0.31	0.52 0.54 0.28		
てんさい (露地) 根部 1996年	2	100	2	7 14 21	0.04 0.12 0.01	0.02 0.05 0.01*		
だいこん (露地) 根部 1992年	2	100	2	14 21	0.02 0.01	0.01* 0.01*	<0.006 <0.006	<0.006 <0.006
だいこん (露地) 葉部 1992年	2	100	2	14 21	1.44 0.38	0.76 0.21	0.02 0.02	0.01* 0.01*
かぶ (施設) 根部 2004~2005年	2	100~135	4 2 4 4 2	1 3 7 14 21	0.03 0.02 0.04 0.05 0.02	0.01* 0.02 0.02 0.03* 0.02		
かぶ (施設) 葉部 2004~2005年	2	100~135	4 2 4 4 2	1 3 7 14 21	9.70 7.37 5.35 5.39 2.42	6.08 5.44 3.91 1.68 1.58		
はくさい (露地) 茎葉 1994年	2	100	2	7 14 21	0.09 0.15 0.02	0.07 0.05 0.01	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006
キャベツ (露地) 葉球 1992年	2	100	2	7 14 21	0.22 0.18 0.12	0.14 0.09 0.07*	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
メキャベツ (露地) 脇芽 2004年	2	100	2	7 14 21	<0.05 <0.05 0.08	<0.05 <0.05 0.06*		
こまつな (施設) 茎葉 1999~2000年	3 2 1	100	1 1 2	14 21 14	0.76 0.21 0.25	0.47 0.16 0.24		
みずな (施設) 可食部 2004年	2	50	2	3 7 14	4.88 4.21 2.09	3.07 2.53 1.38		
チンゲンサイ (施設) 葉茎 1997年	2	100	2	7 14 21	1.38 0.17 0.03	0.86 0.24 0.02		
カリフラワー (露地) 花蕾 1998~2000年	2	150~190	2	3 7 13	0.39 0.12 0.03	0.21 0.08 0.01*		
ブロッコリー (露地) 花蕾 1996年	2	100	2	7 14 21	0.43 0.32 0.13	0.25 0.17 0.05*		
ひろしまな (露地) 茎葉 2002年	2	75	2	3 7 14	2.75 0.99 0.10	1.80 0.64 0.07		
非結球メキャベツ (露地) えき芽葉 2004年	2	100	2	7 14 21	0.40 0.20 0.19	0.31 0.18 0.18		
非結球メキャベツ (露地) 本葉 2004年	2	100	2	7 14 21	5.83 4.97 4.15	5.22 4.15 3.31		
さんとうさい (施設) 茎葉 2003~2004年	2	150	1	7 14	1.39 0.28	0.84 0.22		
茎ブロッコリー (露地) 花蕾と花茎 2003年	2	100	2	1 3 7 14	0.72 0.49 0.29 0.14	0.56 0.37 0.25 0.11		
なばな (露地) 茎葉 2004~2005年	2	150	2	7 14	0.97 0.59	0.96 0.39		
レタス (露地) 茎葉 1996年	2	100	2	7 14 21	0.21 0.02 <0.01	0.12 0.02 <0.01		
リーフレタス (露地) 茎葉 2004~2005年	2	150	2	3 7 14	11.0 10.3 10.6	6.41 4.35 3.62		

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
サラダ菜 (施設) 茎葉 2004~2005年	2	150	2	3 7 14	11.7 7.06 3.79	7.11 4.59 2.35		
ふき (施設) 葉柄 1999年	2	75	2	7 14 21	0.38 0.21 0.20	0.26 0.15 0.13		
すいぜんじな (施設) 葉茎 2003年	2	100	2	1 3 7 14	10.9 11.2 6.3 6.0	7.30 7.60 5.00 4.05		
食用ぎく (施設) 花全体 2003年	2	100~246	2	7 14	1.18 0.28	0.70 0.19		
よもぎ (露地) 葉 2004年	2	100~150	2	3 7 14	5.11 4.45 3.13	4.44 3.64 2.08		
ねぎ(葉ねぎ) (露地) 茎葉 1998年	2	100	2	7 14 21	1.32 0.73 0.32	0.79 0.46 0.19		
ねぎ (根深ねぎ) (露地) 茎葉 1998年	2	100	2	7 14 21	0.91 0.27 0.12	0.86 0.24 0.08		
アスパラガス (施設) 茎 2000年	2	150	2	1 3 7	0.21 0.05 <0.05	0.10* 0.04* 0.02*		
葉にんにく (露地) 葉と鱗茎 2004年	2	83.5~110	1	14	0.22	0.18		
セルリー (施設) 茎葉 2005年	2	83.5~150	2	14	1.42	1.14		
みつば (施設) 茎葉 2004~2005年	2	50	1	14	1.3	1.05		
あしたば (露地) 茎葉 2003年	2	150	2	7 14	0.70 0.40	0.45* 0.35*		
コリアンダー (施設) 茎葉 2004年	2	75~100	2	14 21	1.60 1.16	1.49 0.86		
つわぶき (露地) 可食部	2	150	2	14 21 30	0.058 0.027 0.021	0.055 0.023 0.018		

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
2004年								
トマト (施設) 果実 1998年	2	100	2	1 3 7	0.07 0.13 0.10	0.06 0.06 0.05		
ミニトマト (施設) 果実 2005年	2	100~150	2	1 7 14	0.21 0.12 0.14	0.12 0.11 0.11		
ピーマン (施設) 果実 1996年	2	100	2	1 3 7	0.36 0.36 0.23	0.27 0.22 0.14		
なす (施設) 果実 1992年	2	100~150	2	1 3 7	0.33 0.20 0.10	0.22 0.14 0.07	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006
ししとう (施設) 果実 2003年	2	100	2	1 3 7	2.39 2.19 1.38	1.46 1.32 0.78		
ししとう (施設) 果実 2005年	2	75	2	1 3 7	0.44 0.27 0.12	0.34 0.22 0.12		
伏見甘長 とうがらし (施設) 果実 2003年	2	100	2	7	0.47	0.42		
きゅうり (施設) 果実 1992年	2	150	2	1 3 7	0.17 0.11 0.08	0.13 0.08 0.07	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006
かぼちゃ (露地・施設) 果実 2005年	2	150	2	1 3 7	0.12 0.09 0.06	0.08 0.06 0.06*		
すいか (施設) 果肉 2000年	2	100	2	1 3 7	<0.01 <0.01 <0.01	<0.0075 <0.0075 <0.0075		
にがうり (施設) 果実 2003~2004年	2	100	2	1 3 7	0.4 0.3 0.2	0.3 0.2 0.15*		
おくら (露地) 果実 1997年	2	75	1	1	0.26	0.22		
				2	0.21	0.14		
				3	0.11	0.08		
			2	1	0.30	0.24		
				2	0.21	0.16		
				3	0.10	0.08		
みょうが (施設) 花穂 2001年	2	150	2	1 3 7	<0.05 <0.05 <0.05	<0.03 <0.03 <0.03		

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
モロヘイヤ (施設) 茎葉 2003年	2	80~260	1	14 21	0.36 <0.05	0.26 <0.05		
はすいも (施設) 葉柄 2003~2004年	2	100~150	2	1 3 7	0.06 0.06 0.08	0.04 0.05* 0.04		
未成熟えんどう (施設) さや 2003~2004年	2	100~230	2	1 3 7	0.97 0.51 0.22	0.77 0.41 0.18		
エンサイ (露地) 茎葉 2005年	2	100~150	2	3 7 14	0.91 0.13 <0.05	0.48 0.08 <0.05		
やなぎたで (施設) 茎葉 2004年	2	75	2	14 21	1.47 0.63	1.00 0.52		
食用プリムラ (施設) 花器全体 2004年	2	75	2	14 21	0.65 0.50	0.60 0.34		
みかん (施設) 果肉 2000年	2	300	2	1 3 7	<0.02 <0.02 <0.02	<0.02 <0.02 <0.02		
みかん (施設) 果皮 2000年	2	300	2	1 3 7	3.76 4.23 3.78	1.71 1.74 1.65		
温州みかん (施設) 果肉 1995年	2	250	2	1 3 7	0.07 0.04 0.03	0.03* 0.02* 0.01*		
温州みかん (施設) 果皮 1995年	2	250	2	1 3 7	2.34 1.73 1.26	1.46 1.10 0.82		
なつみかん (露地) 果肉 1997年	2	250	2	1 3 7	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01		
なつみかん (露地) 果皮 1997年	2	250	2	1 3 7	1.87 2.32 2.02	1.44 1.70 1.56		
なつみかん (露地) 果実全体 1997年	2	250	2	1 3 7	0.60 0.73 0.67	0.42 0.49 0.47		
ゆず (露地) 果実 1997年	2	250	2	1 3 7	0.42 0.39 0.50	0.30 0.32 0.30		

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
さんしょう (露地) 果実 2003~2004年	2	75	2	7 14 21 28	0.72 0.67 0.60 0.60	0.61 0.60 0.58 0.50		
りんご (露地) 果実 1992年	2	250	2	21 28 42	0.29 0.23 0.06	0.19 0.14 0.06	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006
りんご (無袋) 果実 1994年	2	250	2	3 7 14	0.41 0.42 0.39	0.32 0.35 0.31	<0.006 <0.006 <0.006	<0.006 <0.006 <0.006
りんご (露地) 果実 2004年	2	200~300	2	1 7 21	0.71 0.62 0.42	0.55 0.52 0.35		
なし (露地) 果実 1996年	2	250	2	7 14 21	0.36 0.32 0.18	0.29 0.26 0.15		
もも (露地) 果肉 1997年	2	250	2	1 3 7	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01		
もも (露地) 果皮 1997年	2 2 1	250	2	1 3 7	2.33 3.57 3.14	1.81 2.75 2.87		
ネクタリン (露地) 果実 2004年	2	200~300	2	7 14	0.46 0.33	0.32 0.30		
おうとう (施設) 果実 1998年	1 2 1 1	250	2	14 21 22	0.29 0.32 0.03	0.18 0.26 0.02		
いちご (無袋) 果肉 1996年	1	100	2	22 57	0.04 0.03	0.04 0.02		
いちご (施設) 果実 2003年	2	100~125	2	1 3 7	1.57 1.13 0.97	0.79 0.54 0.47		
ぶどう (施設) 果実 1997~1999年	4 4 4 2	150~175	2	14 21 30 45	0.94 2.40 1.80 1.75	0.55 0.92 0.79 0.95		
ぶどう (施設) 果実 2002~2003年	2 2 2 1	150	2	14 21 30 45	0.27 0.25 0.27 0.03	0.22 0.18 0.16 0.03		
かき	2	250	2	14	0.39	0.26		

作物名 実施年	試験 圃場 数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)			
					クロルフェナピル		代謝物 F	
					最高値	平均値	最高値	平均値
(無袋) 果実 1995年				21 28	0.36 0.31	0.20 0.16		
バナナ (露地) 果実 2004年	2	100	2	14 21	0.83 0.66	0.56 0.46		
マンゴー (施設) 果実 2004年	2	150	2	14 21 30	0.085 0.060 0.056	0.082 0.057 0.055		
いちじく (露地) 可食部 1998-2000年	3	100	2	1 3 7	0.49 0.47 0.32	0.08 0.28 0.14*		
ゴレンシ (施設) 可食部 2004年	2	150	2	14 21 30	0.74 0.75 0.69	0.73 0.73 0.68		
茶 (露地) 荒茶 1992年	2	200	2	7 14 21	31.4 19.6 13.2	22.3 11.3 6.76	0.36 0.39 0.37	0.21 0.20 0.17*
茶 (露地) 浸出液 1992年	2	200	2	7 14 21	0.36 0.28 0.19	0.28 0.16 0.10*	<0.02 <0.02 <0.02	<0.02 <0.02 <0.02
茶 (簡易被覆) 荒茶 1992~1993年	3 3 2	200	1	7 14 21	28.7 18.4 3.88	20.7 9.44 2.34		
茶 (簡易被覆) 滲出液 1992~1993年	3 3 2	200	1	7 14 21	0.64 0.31 0.09	0.34 0.15 0.04*		

注) ・散布には10%フロアブル剤を使用した。

・一部に定量限界未満を含むデータの平均を計算する場合は定量限界値を検出したものとして計算し、*印を付した。

・全てのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。

<別紙4：推定摂取量>

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：53.3 kg)		小児(1~6歳) (体重：15.8 kg)		妊婦 (体重：55.6 kg)		高齢者(65歳以上) (体重：54.2 kg)	
		ff (g/人日)	摂取量 (μg/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (μg/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (μg/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (μg/人日)
さといも	0.29	11.6	3.36	5.7	1.65	7.9	2.29	17.3	5.02
やまのいも	0.54	2.6	1.40	0.5	0.27	1.6	0.86	4.3	2.32
てんさい	0.05	4.5	0.23	3.7	0.19	3.4	0.17	4.0	0.20
だいこん(根)	0.01	45.0	0.45	18.7	0.19	28.7	0.29	58.5	0.59
だいこん(葉)	0.76	2.2	1.67	0.5	0.38	0.9	0.68	3.4	2.58
かぶ(根)	0.03	2.6	0.08	0.7	0.02	0.7	0.02	4.2	0.13
かぶ(葉)	6.08	0.5	3.04	0.1	0.61	0.3	1.82	1.1	6.69
はくさい	0.07	29.4	2.06	10.3	0.72	21.9	1.53	31.7	2.22
キャベツ	0.14	22.8	3.19	9.8	1.37	22.9	3.21	19.9	2.79
こまつな	0.47	4.3	2.02	2.0	0.94	1.6	0.75	5.9	2.77
きょうな	3.07	0.3	0.92	0.1	0.31	0.1	0.31	0.3	0.92
チンゲンサイ	0.86	1.4	1.20	0.3	0.26	1.0	0.86	1.9	1.63
カリフラワー	0.21	0.4	0.08	0.1	0.02	0.1	0.02	0.4	0.08
ブロッコリー	0.25	4.5	1.13	2.8	0.70	4.7	1.18	4.1	1.03
その他のアブラナ科野菜	5.22	2.1	11.0	0.3	1.57	0.2	1.04	3.1	16.2
レタス	7.11	6.1	43.4	2.5	17.8	6.4	45.5	4.2	29.9
その他のきく科野菜	7.6	0.4	3.04	0.1	0.76	0.5	3.80	0.7	5.32
ねぎ	0.86	11.3	9.72	4.5	3.87	8.2	7.05	13.5	11.6
アスパラガス	0.10	0.9	0.09	0.3	0.03	0.4	0.04	0.7	0.07
その他のゆり科野菜	0.18	0.9	0.16	0.1	0.02	0.1	0.02	1.8	0.32
セルリー	1.14	0.4	0.46	0.1	0.11	0.3	0.34	0.4	0.46
みつば	1.05	0.2	0.21	0.1	0.11	0.1	0.11	0.2	0.21
その他のせり科野菜	1.49	0.1	0.15	0.1	0.15	0.1	0.15	0.3	0.45
トマト	0.12	24.3	2.92	16.9	2.03	24.5	2.94	18.9	2.26
ピーマン	0.27	4.4	1.19	2.0	0.54	1.9	0.51	3.7	1.00
なす	0.22	4.0	0.88	0.9	0.20	3.3	0.73	5.7	1.25
その他のなす科野菜	1.46	0.2	0.29	0.1	0.15	0.1	0.15	0.3	0.44
きゅうり	0.13	16.3	2.12	8.2	1.07	10.1	1.31	16.6	2.16
かぼちゃ	0.12	9.4	1.13	5.8	0.70	6.9	0.83	11.5	1.38
その他のうり科野菜	0.3	0.5	0.15	0.1	0.03	2.3	0.69	0.7	0.21

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：53.3 kg)		小児(1~6歳) (体重：15.8 kg)		妊婦 (体重：55.6 kg)		高齢者(65歳以上) (体重：54.2 kg)	
		ff (g/人日)	摂取量 (μg/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (μg/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (μg/人日)	ff (g/人日)	摂取量 (μg/人日)
おくら	0.24	0.3	0.07	0.2	0.05	0.2	0.05	0.3	0.07
その他の野菜	1.00	12.6	12.6	9.7	9.70	9.6	9.60	12.2	12.2
みかん	1.74	41.6	72.4	35.4	61.6	45.8	79.7	42.6	74.1
なつみかんの皮	1.70	0.1	0.17	0.1	0.17	0.1	0.17	0.1	0.17
なつみかんの果実全体	0.49	0.1	0.05	0.1	0.05	0.1	0.05	0.1	0.05
その他のかんきつ	0.61	0.4	0.24	0.1	0.06	0.1	0.06	0.6	0.37
りんご	0.55	35.3	19.4	36.2	19.9	30.0	16.5	35.6	19.6
なし	0.29	5.1	1.48	4.4	1.28	5.3	1.54	5.1	1.48
もも	2.87	0.5	1.44	0.7	2.01	4.0	11.5	0.1	0.29
ネクタリン	0.32	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03
おうとう	0.26	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03	0.1	0.03
いちご	0.79	0.3	0.24	0.4	0.32	0.1	0.08	0.1	0.08
ぶどう	0.92	5.8	5.34	4.4	4.05	1.6	1.47	3.8	3.50
かき	0.26	31.4	8.16	8.0	2.08	21.5	5.59	49.6	12.9
バナナ	0.56	12.6	7.06	11.3	6.33	8.7	4.87	17.7	9.91
マンゴー	0.082	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01	0.1	0.01
その他の果実	0.73	3.9	2.85	5.9	4.31	1.4	1.02	1.7	1.24
茶	22.3	3.0	66.9	1.4	31.2	3.5	78.0	4.3	95.9
合計			296		180		289		334

注) ・残留値は、申請されている使用時期・回数のうち平均残留値の最大値を用いた(参照 別紙 3)。

- ・ff: 平成10年~12年の国民栄養調査(参照 68~70)の結果に基づく農産物摂取量(g/人日)。
- ・摂取量: 残留値及び農産物摂取量から求めたクロルフェナピルの推定摂取量(μg/人日)。
- ・「きょうな」についてはみずなの平均残留値を用いた。
- ・「その他のアブラナ科野菜」には、ひろしまな、非結球メキャベツ、さんとうさい、茎ブロッコリー及びびなばなが含まれるが、平均残留値の高い非結球メキャベツの値を用いた。
- ・「レタス」には、レタス、リーフレタス及びサラダ菜が含まれるが、平均残留値の高いサラダ菜の値を用いた。
- ・「その他のきく科野菜」には、ふき、すいぜんじな、食用ぎく及びよもぎが含まれるが、平均残留値の高いすいぜんじなの値を用いた。
- ・「その他のゆり科野菜」には、葉にんにくの残留値を用いた。
- ・「その他のせり科野菜」にはあしたば、コリアンダー及びつわぶきが含まれるが、平均残留値の高いコリアンダーの値を用いた。
- ・「トマト」には、トマト及びミニトマトが含まれるが、平均残留値の高いミニトマトの値を用いた。
- ・「その他のなす科野菜」には、ししとう及び伏見甘長とうがらしが含まれるが、平均残留値の高いししとうの値を用いた。
- ・「その他のうり科野菜」には、にがうりの平均残留値を用いた。
- ・「その他の野菜」には、みょうが、モロヘイヤ、はすいも、未成熟エンドウ、エンサイ、やなぎたで及び食用プリムラが含まれるが、平均残留値の高いやなぎたでの値を用いた。
- ・「その他のかんきつ」には、ゆず及びさんしょうが含まれるが、平均残留値の高いさんしょうの値を用いた。
- ・「その他の果実」には、いちじく及びゴレンシが含まれるが、平均残留値の高いゴレンシの値を用いた。
- ・「あずき」、「かんしょ」、「すいか」及び「なつみかん(果肉)」については全ての値が定量限界未満であったため、摂取量の算出には用いなかった。

< 参照 >

- 1 農薬抄録クロルフェナピル：日本農薬株式会社、2005年、未公表
- 2 ラットにおける吸収・分布・排泄：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 3 ラットにおける代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 4 ラットにおける胆汁中排泄(追加試験)：(株)三菱化学安全科学研究所、1994年、未公表
- 5 ラット反復投与における分布・代謝・排泄：(株)三菱化学安全科学研究所、1995年、未公表
- 6 マウスにおける血液中濃度推移：(株)三菱化学安全科学研究所、1997年、未公表
- 7 ひめりんごにおける代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 8 なすにおける代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 9 キャベツにおける代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 10 土壌における代謝：(株)三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 11 土壌表面における光分解試験：American Cyanamid Company、1993年、未公表
- 12 土壌吸着性試験：(株)三菱化成安全科学研究所、1993年、未公表
- 13 加水分解試験(非標識体を用いた評価その1)：(株)三菱化成安全科学研究所、1992年、未公表
- 14 加水分解試験(非標識体を用いた評価その2)：(株)三菱化成安全科学研究所、1992年、未公表
- 15 加水分解試験(標識体を用いた評価)：American Cyanamid Company、1993年、未公表
- 16 水中光分解試験(非標識体を用いた評価)：(株)三菱化成安全科学研究所、1993年、未公表
- 17 水中光分解試験/緩衝液(標識体を用いた評価)(GLP 対応)：American Cyanamid Company、1993年、未公表
- 18 水中光分解試験/自然水(標識体を用いた評価)(GLP 対応)：日本農薬(株)、2004年、未公表
- 19 土壌残留試験結果：日本農薬(株)、1998年、未公表
- 20 作物残留試験結果：日本農薬(株)、1993年~2000年、未公表
- 21 生体の機能に及ぼす影響に関する試験：三菱化成安全科学研究所、1994年、未公表
- 22 ラットにおける急性経口毒性試験(GLP 対応)：三菱化成安全科学研究所、1994年
- 23 マウスにおける急性経口毒性試験(GLP 対応)：American Cyanamid Company、1993年、未公表
- 24 ウサギにおける急性経皮毒性試験(GLP 対応)：American Cyanamid Company、1992年、未公表
- 25 ラットにおける急性吸入毒性試験(GLP 対応)：Bio/dynamic 社、1993年、未公表
- 26 代謝物 PY(F)のラットにおける急性経口毒性試験(GLP 対応)：American Cyanamid Company、1994年、未公表
- 27 代謝物 M-4-H(D)のラットにおける急性経口毒性試験(GLP 対応)：American Cyanamid Company、1994年、未公表
- 28 代謝物 PY-5-COOH(G)のラットにおける急性経口毒性試験(GLP 対応)：American Cyanamid Company、1994年、未公表
- 29 代謝物 PY-4-CO-5-OH(K)のラットにおける急性経口毒性試験(GLP 対応)：American Cyanamid Company、1994年、未公表
- 30 ラットにおける経口投与による急性神経毒性試験(GLP 対応)：Pharmaco LSR 社、1994年、未公表
- 31 ウサギにおける皮膚一次刺激性試験(GLP 対応)：American Cyanamid Company、1992年、未公表

- 未公表
- 32 ウサギにおける眼粘膜一次刺激性試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994 年、未公表
 - 33 ウサギにおける眼粘膜一次刺激性試験(GLP 対応) : 三菱化成安全科学研究所、1994 年
 - 34 モルモットにおける皮膚感作性試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1993 年、未公表
 - 35 モルモットにおける皮膚感作性試験(GLP 対応) : 三菱化成安全科学研究所、1995 年、未公表
 - 36 ラットにおける亜急性経口毒性試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1993 年、未公表
 - 37 マウスにおける亜急性経口毒性試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994 年、未公表
 - 38 イヌにおける亜急性経口毒性試験(GLP 対応) : Pharmaco LSR 社、1993 年、未公表
 - 39 ウサギにおける亜急性経皮毒性試験(GLP 対応) : Bio/dynamic 社、1993 年、未公表
 - 40 イヌにおける混餌法による慢性毒性試験(GLP 対応) : Pharmaco LSR 社、1994 年、未公表
 - 41 ラットにおける混餌法による慢性毒性発癌性併合試験(GLP 対応) : Hazleton Washington、1994 年、未公表
 - 42 マウスにおける混餌法による発癌性試験(GLP 対応) : Bio-Research Laboratories、1994 年、未公表
 - 43 ラットにおける混餌法による 1 年間神経毒性試験(GLP 対応) : Argus Research Laboratories 社、1994 年、未公表
 - 44 ラットを用いた繁殖毒性試験(GLP 対応) : Pharmaco LSR 社、1994 年、未公表
 - 45 ラットにおける繁殖試験に関する検討試験(GLP 対応) : 三菱化学安全科学研究所、1994 年、未公表
 - 46 ラットにおける催奇形性試験(GLP 対応) : Argus Research Laboratories 社、1993 年、未公表
 - 47 ウサギにおける催奇形性試験(GLP 対応) : Argus Research Laboratories 社、1993 年、未公表
 - 48 細菌を用いた DNA 修復試験(GLP 対応) : 三菱化成安全科学研究所、1994 年、未公表
 - 49 細菌を用いた復帰突然変異試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994 年、未公表
 - 50 チャイニーズハムスターの CHO 細胞を用いた HGPRT 突然変異試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994 年、未公表
 - 51 CHL 細胞を用いた in vitro 染色体異常試験(GLP 対応) : Huntingdon Research Centre、1994 年、未公表
 - 52 ラットの初代培養肝細胞を用いた不定期 DNA 合成試験(GLP 対応) : Microbiological Associates 社、1993 年、未公表
 - 53 マウスを用いた in vivo 骨髄小核試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994 年、未公表
 - 54 代謝物 PY(F)の細菌を用いた復帰変異試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994 年、未公表

- 55 代謝物 M-4-H(D)の細菌を用いた復帰変異試験(GLP 対応): American Cyanamid Company、1994 年、未公表
- 56 代謝物 PY-5-COOH(G)の細菌を用いた復帰変異試験(GLP 対応) : American Cyanamid Company、1994 年、未公表
- 57 マウスにおける混餌法による神経毒性試験(GLP 対応) : 三菱化学、1994 年、未公表
- 58 食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 114 回会合資料 1-1(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai114/dai114kai-siryoul-1.pdf>)
- 59 「クロルフェナピル」の食品衛生法(昭和 22 年法律第 233 号)第 11 条第 1 項の規定に基づく、食品中の残留基準設定に係る食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 114 回会合資料 1-3(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai114/dai114kai-siryoul-3.pdf>)
- 60 食品、添加物等の規格基準(昭和 34 年厚生省告示第 370 号)の一部を改正する件(平成 17 年 11 月 29 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 499 号)
- 61 食品安全委員会農薬専門調査会第 42 回会合(URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai42/index.html>)
- 62 食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 153 回会合資料 1-1-b(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/dai153kai-siryoul-1-b.pdf>)
- 63 暫定基準を設定した農薬等に係る食品安全基本法第 24 条第 2 項の規定に基づく食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 153 回会合資料 1-4(URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/dai153kai-siryoul-4.pdf>)
- 64 クロルフェナピルの安全性評価資料の追加提出(要望事項に対する回答書) : 日本農薬株式会社、2007 年、未公表
- 65 代謝物 PY(F)の細菌を用いた復帰変異試験(GLP 対応) : BASF、2007 年、未公表
- 66 食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第一部会第 12 回会合(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougoul_dai12/index.html)
- 67 食品安全委員会農薬専門調査会幹事会第 22 回会合(URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai22/index.html)
- 68 国民栄養の現状－平成 10 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2000 年
- 69 国民栄養の現状－平成 11 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2001 年
- 70 国民栄養の現状－平成 12 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2002 年